

自動車小売業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	9～ 10	修理で引き取りした大型車を駐車して降車し、ドアを閉める時、足元が路面凍結していたため踏ん張りが効かず、滑って腰から転倒した。	68	50 ～ 99
2	9～10	除雪のために長靴を自分の車に取りに行く途中、会社敷地内の凍結した路面で転倒し頭部と腰部を打撲した。	35	10 ～ 29
2	19～20	帰りの戸締まりをし、第二工場から歩いて出ようとしたところ、タイルが濡れていた為滑り転んでしまった。脇のアスファルトの部分で止まったが、その為に左足に圧力が掛かり脛の骨が折れて負傷した。	42	30 ～ 49
2	17～18	当社への店舗間を移動している際、床で足を滑らせ転倒し、展示場の支柱に左足を打ちつけ骨折してしまった。	45	—
4	15～ 16	構内洗車場付近のゴミを片付けようと移動中につまずき、地面に左膝から転倒した。左膝に若干の違和感を感じたが痛みも弱く歩行もできたため、定時まで勤務を続け帰宅した。その後、患部がひどく腫れ、膝を曲げるのがつらくなった。	57	100 ～ 299
7	16～17	3階駐車場に車両を駐車し、徒歩で斜路を下った際、雨で濡れていた場所で滑ってしまい転倒。その際に左足首を捻り、亀裂骨折となる。	61	30 ～ 49
7	18～19	店舗敷地内の駐車場付近において、整備工場外に止めてあった原動機付スクーターを工場内へしまうため、走行させたところ工場横の浄化分離槽のマンホールでスリップし転倒、右肩を脱臼した。	42	10 ～ 29

7	15~16	洗車場において、バックで洗車場から移動する車輛を誘導していたところ、躓いて転倒し、体をかばうため、右手で床を強く打ち、負傷した。	63	10 ～ 29
7	11～ 12	車検整備中リフトアップした車両に乗り込み車両から降りる際にリフトのアームに足が引っ掛かり転倒、左手で床につき左手親指を骨折した。リフトを十分下段まで、下げずに少し上った状態で乗り降りした為転倒した。	20	10 ～ 29
7	10～ 11	整備工場内にて、車のタイミングベルト交換作業中、タイミングベルトを左手で固定したままの体勢で右斜めうしろの地面に置いてある工具を取ろうとした。右腕をうしろ下方向に伸ばし、少しのけぞる形になってしまったため、足と腕のバランスを崩し転倒した。その際右手の甲から地面に着いてしまい骨折した。無理な体勢で工具を取ろうとしたことが今回の事故の原因である。	21	50 ～ 99
7	10～ 11	得意先の車置場で廃車の引き取りの際、車を積んだ後に高さ1m程のサイドステップから飛び降りたときに、地面にあった石を踏んで転倒した。ちょうど石の上に降りたため、右足首を捻って転倒し、右足首を負傷した。	30	10 ～ 29
11	9～ 10	当社において敷地内の除雪作業中、敷地面が降雪により滑り易くなっていた為、足を滑らせ体のバランスを崩し転倒した際、右腕が体の下になり負傷したものである。	49	30 ～ 49
11	10～ 11	物流センター敷地内にて、積載車で公道に出ようとした際、忘れ物に気づき、積載車から降り事務所に向かったところ、積載車が動き出し、車両に戻ろうと走って行く途中転倒した。	62	10 ～ 29
11	10～ 11	弊社工場内において車両のエンジンオイルを交換する作業をしている際、エンジンオイルを車両から抜くマシンを起動させる為、電源プラグをコンセントにつなげようと2～3歩移動したところ、車両のタイヤをのせブレを計測するための器具を設置している段差（5cm程）に足を取られ、捻るような形で体勢を崩した。その際、左足の甲を骨折したものである。	57	10 ～ 29
12	9~10	職場にて左手に水の入ったバケツを持ち、右手に脚立を持って前方に歩き出し、段差のある地面（2cm位）に右足の先端（つま先）をつまずいて前向きに転び、左足ひざおよび両肩を痛めた。	66	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html